



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東  
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	12,130	3.2	631	196.0	441	105.3	287	291.7
2023年3月期第2四半期	11,751	15.4	213	△14.8	215	△22.7	73	△42.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 807百万円(△23.3%) 2023年3月期第2四半期 1,052百万円(98.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	19.97	—
2023年3月期第2四半期	5.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,393	8,232	32.8
2023年3月期	23,879	7,446	30.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,996百万円 2023年3月期 7,233百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,000	2.2	1,000	48.8	830	34.0	560	—
								38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	14,624,000株	2023年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	163,887株	2023年3月期	229,487株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	14,408,771株	2023年3月期2Q	14,344,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は2023年12月5日 (火) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、半導体不足の緩和により、自動車向けは回復が見られたものの、その他分野の在庫調整や巣ごもり消費の一巡の影響により、需要は減少しました。また、世界的な金融引き締め等による景気の減速懸念や、急激な為替変動、エネルギー価格の高騰が続いていることから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野の受注が回復したことで堅調に推移しました。実装関連事業では、産業機器、航空機向けの受注好調に加え、新規市場開拓により通信機器向けの受注が大幅に増加した結果、国内の売上高は前年同四半期を上回りました。

海外においては、中国で自動車関連分野の受注は回復したものの、事務機分野や電源等の電子部品分野を中心に受注が減少しました。一方、ベトナムでは、自動車関連分野の旺盛な需要と、サプライチェーン体制の再編により中国から生産移管を行い、受注が大幅に増加しました。

その結果、連結売上高は、12,130百万円（前年同四半期比3.2%増 379百万円の増収）となりました。

利益面は、電力料等の製造経費の高騰が続いたものの、ベトナムと実装関連事業は、引き続き大幅な増収により増益となり、好調に推移しました。中国は付加価値の高い金属基板が自動車向けを中心に売上を伸ばしたことと、受注にあわせてコスト改善を進めたことにより増益となりました。これらの結果、営業利益は631百万円（前年同四半期比196.0%増 418百万円の増益）、経常利益は441百万円（前年同四半期比105.3%増 226百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は287百万円（前年同四半期比291.7%増 214百万円の増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少660百万円、受取手形及び売掛金の増加666百万円、有形固定資産の増加461百万円等により、24,393百万円（前連結会計年度末比513百万円の増加）となりました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の増加144百万円、短期借入金の減少575百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加163百万円等により、16,160百万円（前連結会計年度末比272百万円の減少）となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の増加242百万円、為替換算調整勘定の増加529百万円等により、8,232百万円（前連結会計年度末比786百万円の増加）となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間より225百万円増加し、4,428百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、667百万円（前年同期は854百万円の増加）となりました。これは主に棚卸資産の減少783百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、520百万円（前年同期は279百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出514百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少額は、1,080百万円（前年同期は49百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純減額843百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2023年7月28日発表からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,233	4,572
受取手形及び売掛金	3,652	4,319
電子記録債権	946	1,123
製品	2,407	2,122
仕掛品	560	696
原材料及び貯蔵品	1,666	1,311
その他	1,489	1,734
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	15,950	15,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,255	5,517
減価償却累計額	△3,526	△3,762
建物及び構築物（純額）	1,729	1,754
機械装置及び運搬具	11,481	12,384
減価償却累計額	△7,427	△8,111
機械装置及び運搬具（純額）	4,054	4,273
土地	724	724
建設仮勘定	23	238
その他	1,645	1,760
減価償却累計額	△1,026	△1,141
その他（純額）	618	619
有形固定資産合計	7,149	7,610
無形固定資産	25	22
投資その他の資産		
投資有価証券	348	410
繰延税金資産	80	84
長期滞留債権	594	644
その他	328	394
貸倒引当金	△596	△647
投資その他の資産合計	755	886
固定資産合計	7,929	8,519
資産合計	23,879	24,393

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,925	3,070
電子記録債務	976	846
短期借入金	5,049	4,474
1年内返済予定の長期借入金	465	628
リース債務	46	47
未払法人税等	187	191
賞与引当金	221	216
その他	1,010	1,069
流動負債合計	10,884	10,545
固定負債		
長期借入金	4,821	4,722
リース債務	73	63
退職給付に係る負債	498	526
その他	155	303
固定負債合計	5,548	5,615
負債合計	16,432	16,160
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,186	1,202
利益剰余金	3,648	3,890
自己株式	△25	△18
株主資本合計	5,910	6,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	107
繰延ヘッジ損益	△74	△159
為替換算調整勘定	1,396	1,925
退職給付に係る調整累計額	△67	△54
その他の包括利益累計額合計	1,322	1,819
非支配株主持分	213	236
純資産合計	7,446	8,232
負債純資産合計	23,879	24,393

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	11,751	12,130
売上原価	9,936	9,816
売上総利益	1,814	2,314
販売費及び一般管理費	1,601	1,682
営業利益	213	631
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	4	4
為替差益	6	—
仕入割引	11	4
受取手数料	3	—
雇用調整助成金	6	—
雑収入	14	11
営業外収益合計	49	27
営業外費用		
支払利息	46	179
為替差損	—	34
売上債権売却損	1	1
雑損失	—	1
営業外費用合計	48	217
経常利益	215	441
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	6	4
特別損失合計	8	4
税金等調整前四半期純利益	206	439
法人税、住民税及び事業税	136	146
法人税等合計	136	146
四半期純利益	70	292
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	73	287

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	70	292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	39
繰延ヘッジ損益	△59	△85
為替換算調整勘定	1,068	547
退職給付に係る調整額	16	13
その他の包括利益合計	982	514
四半期包括利益	1,052	807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,022	784
非支配株主に係る四半期包括利益	30	23



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	206	439
減価償却費	447	481
引当金の増減額 (△は減少)	△11	36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6	4
受取利息及び受取配当金	△6	△11
支払利息	46	179
有形固定資産除売却損益 (△は益)	8	2
売上債権の増減額 (△は増加)	354	△435
棚卸資産の増減額 (△は増加)	352	783
仕入債務の増減額 (△は減少)	△722	△277
その他	348	△237
小計	1,015	965
利息及び配当金の受取額	6	10
利息の支払額	△44	△192
法人税等の支払額	△123	△114
営業活動によるキャッシュ・フロー	854	667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△272	△514
無形固定資産の取得による支出	—	△1
有形固定資産の売却による収入	0	3
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279	△520
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△55	△843
長期借入れによる収入	440	—
長期借入金の返済による支出	△238	△165
配当金の支払額	△70	△42
リース債務の返済による支出	△27	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	49	△1,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	416	271
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,041	△662
現金及び現金同等物の期首残高	3,161	5,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,203	4,428

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。